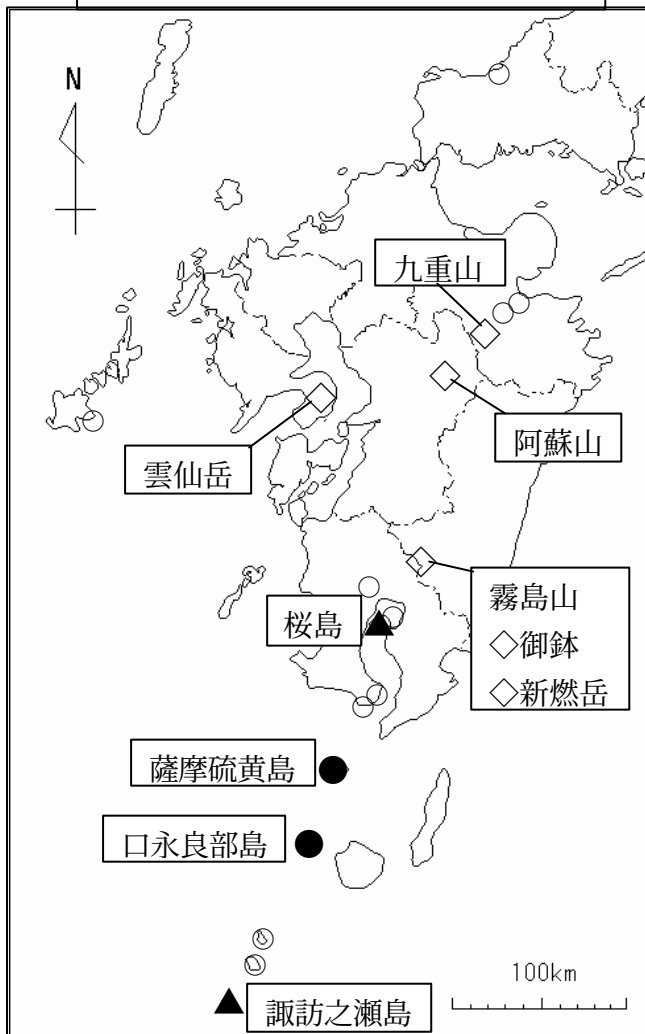


九州地方の火山活動解説資料

(平成 18 年 8 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

九州地方および山口県の活火山



▲：噴火した火山

●：活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山

◇：解説を掲載した火山

○：その他の火山

この資料は、気象庁のデータその他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。

本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ(標高)」を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

◇ 九重山[静穏な状況(火山活動度レベル 1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

◇ 阿蘇山[静穏な状況(火山活動度レベル 1)]←4日にやや活発な状況(火山活動度レベル 2)から引き下げ

中岳第一火口内の湯だまり量は、10割で経過し、表面温度も 60℃以下と低い状態が続きました。また、小規模な土砂噴出もなく火山活動は静穏になったと判断し、4日にレベルを 2 から 1 に引き下げました。

火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

◇ 雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル 1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

◇ 霧島山

[◇御鉢 静穏な状況(火山活動度レベル 1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

[◇新燃岳 静穏な状況(火山活動度レベル 1)]

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

▲ 桜島[比較的静穏な噴火活動(火山活動度レベル 2)]←18日に活発な状況(火山活動度レベル 3)から引き下げ

南岳山頂火口では小規模な噴火が観測されましたが、昭和火口からの噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動はやや多いものの、噴火活動は比較的静穏になったと判断し、18日にレベルを 3 から 2 に引き下げました。

● 薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル 2)]

地震活動、噴煙活動ともにやや活発な状態で経過しました。

● 口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル 2)]

火山性地震はやや多く、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

▲ 諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル 3)]

噴火や爆発的噴火が時々発生し、火山活動は活発な状態で経過しました。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、10月10日(火)の予定です。

火山情報発表状況（平成 18 年 8 月）

火山名	情 報 名	発表時間	概 要
阿蘇山	火山観測情報第 5 号	4 日 15 時 00 分	やや活発な状況(レベル 2)⇒静穏な状況(レベル 1) 中岳第一火口内の湯だまりの表面温度は 60℃以下と低くなり、小規模な土砂噴出の発生もないなど噴火の可能性は低く、火山活動は静穏になったと判断し、レベルを引き下げました。
桜島	火山観測情報第 28 号	4 日 15 時 45 分	活発な状況(レベル 3) 山頂火口及び昭和火口の活動状況(噴火の状況、火山性地震・微動の発生回数)
	火山観測情報第 29 号	11 日 15 時 30 分	
	火山観測情報第 30 号	18 日 15 時 30 分	活発な状況(レベル 3)⇒比較的静穏な噴火活動(レベル 2) 南岳山頂火口の噴火は時々発生していますが、昭和火口からの噴火の発生はなく、火山活動は比較的静穏な噴火活動になったと判断し、レベルを引き下げました。

雲仙岳

1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは1(静穏な火山活動)でした。

2 概 況

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

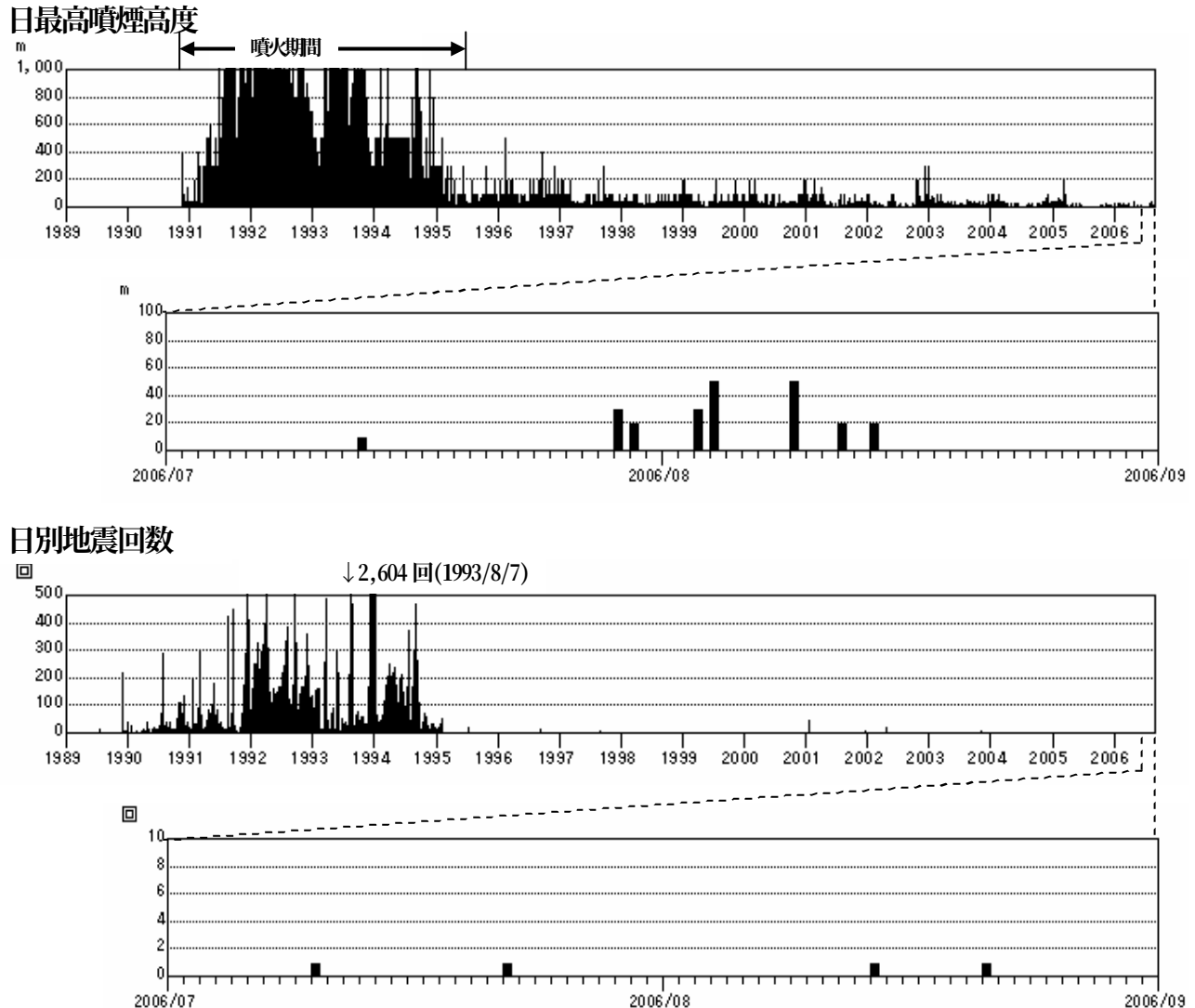


図1 火山活動経過図(1989年1月～2006年8月)

- 火山性地震の月回数は2回と少なく、静穏に経過しました(7月：2回)。
- 火山性微動は観測されませんでした(7月：なし)。
- 2006年8月の遠望観測で噴煙を時々観測し、高さの最高は50mで、引き続き静穏な状態で経過しました(7月：最高高度30m)。

資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。

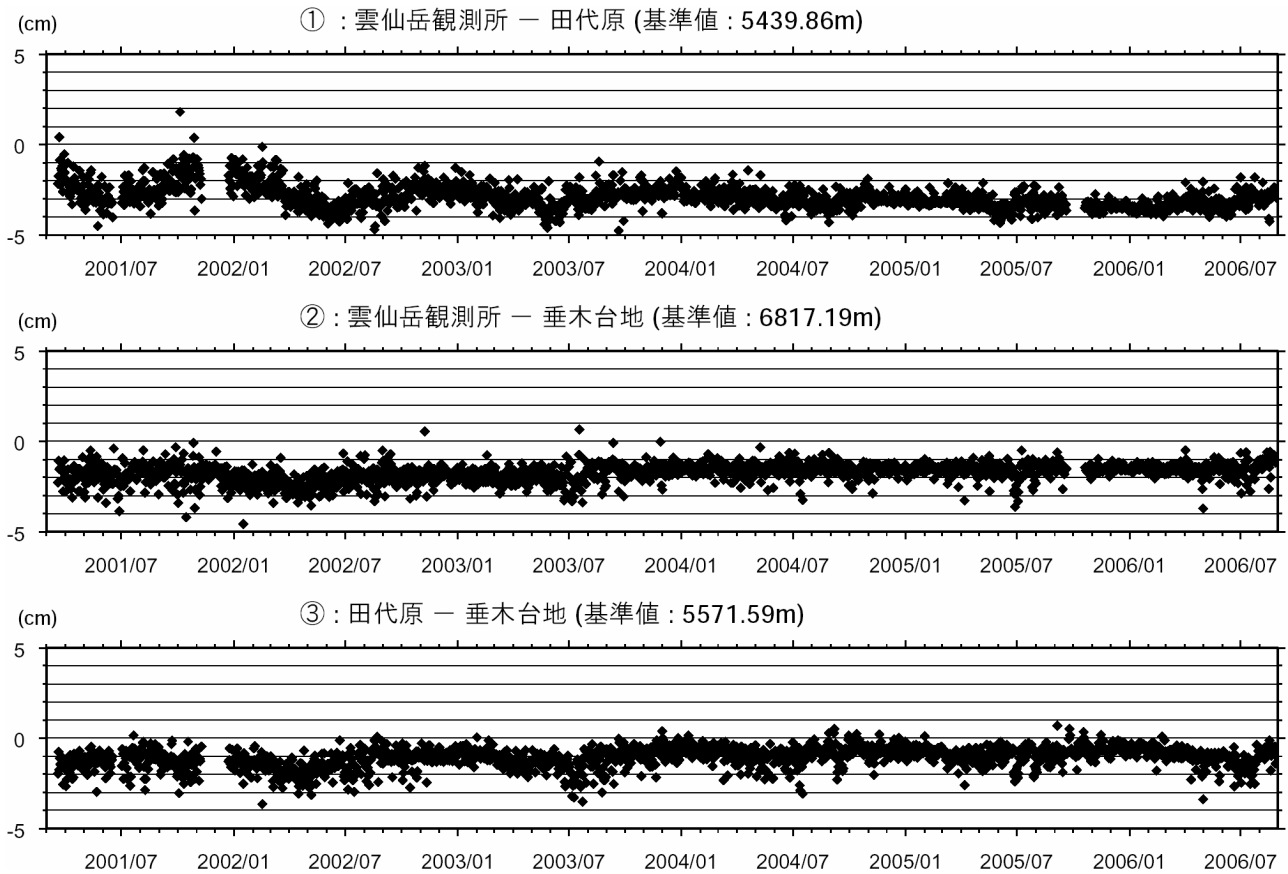


図2 GPSによる基線長変化(2001年3月20日~2006年8月31日)

■ 火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

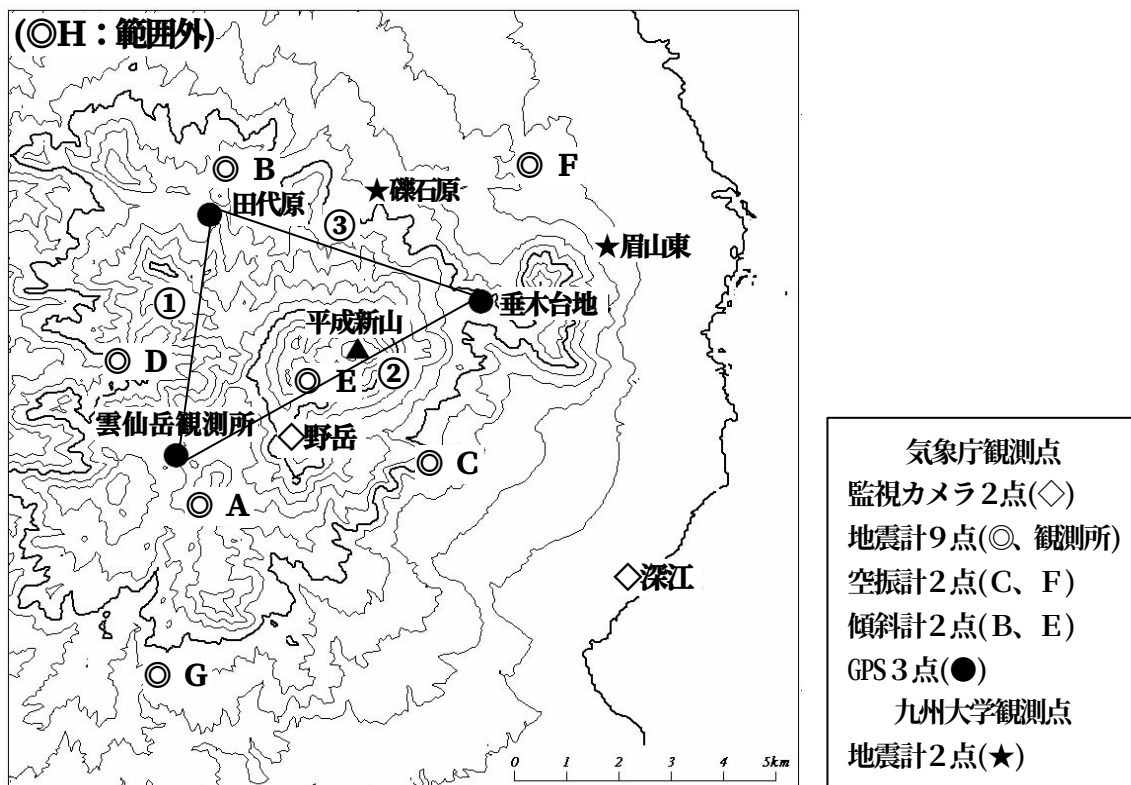


図3 観測点位置図